

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	福井鉄道福武線支援事業	事業コード	1502
------------	-------------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	421
		安心で快適に暮らせるまちの創造	どこにでも歩いて行ける交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成	

PLAN(計画)	部署名	総務課	開始年度	2008	終了年度	2022
	目的	地方鉄道である福井鉄道福武線の運行維持のため、県および沿線3市で行政支援を暫定的に実施し経営安定化に資する。				
	概要	昨年度に改定を行った福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画にもとづき、福井鉄道に対し平成30年度～平成34年度までの5年間で国・県が22.4億円、沿線3市で7.5億円の行政支援を行う。このうち沿線3市の助成は運行維持修繕費に当てられる。また、福武線沿線地域の公共交通の活性化・再生を図るための福井鉄道福武線活性化連携協議会(法定協議会)へ沿線3市で支援する。さらに、福井鉄道福武線の運行維持に向けて、「福井鉄道福武線利用促進鯖江市民会議」を始めとする、鯖江市、福井市、越前市の沿線住民および団体等が連携した福井鉄道福武線サポート団体等が連携して利用促進に努める。				
	法令根拠					
実施形態	現在	補助金等交付				
内容	運行維持費補助金	48,600千円	緊急修繕補助金	60,000千円(繰越)		
	利用促進鯖江市民会議補助金	200千円	活性化連携協議会負担金	750千円		

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	※設定困難			目標値					
				実績値					
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	鯖江市内6駅利用者数		人	目標値	520,000	520,000	520,000	520,000	520,000
				実績値	503,203	502,567	475,780		
	計算根拠			達成率(%)	96.8	96.6	91.5		
				実数値					
			ランク	A	A	B			

会計	一般会計	事業タイプ	単独事業	正規職員	0.1
経費区分	補助費等	事業要員	臨時・嘱託	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	39,950	40,250	39,950	41,950	109,550	
	決算額	39,950	40,250	39,950	41,950		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	福井鉄道は地域住民の足として存続の要望がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	市民の移動手段である公共交通機関を維持するための補助事業であるため、市が行う必要がある。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体 事業名		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課 事業名		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠			

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み 地域住民の重要な公共交通として存続できるよう、改訂版福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、市民、県、沿線市と協力を図りながら、引き続き利用促進や財政支援を行っていく。	平成31年度計画 改訂版福井鉄道交通圏地域公共交通網形成計画に基づき、市民、県、沿線市と協力を図りながら、引き続き利用促進や財政支援を行っていく。また、2023年春の並行在来線運行開始後も地域住民の重要な公共交通として存続できるよう、地域鉄道の一体的経営による経営強化の可能性について関係者との協議を深める。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】 <input type="text" value="不可能"/>						
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	鯖江公共交通振興会運営補助事業	事業コード
		1924

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		安心で快適に暮らせるまちの創造	どこにでも歩いて行ける交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成
				421

PLAN(計画)	部署名	総務課	開始年度	2005	終了年度	9999
	目的	鯖江公共交通振興会が実施する事業を通して、JR、福井鉄道、つつじバスなどの公共交通利用促進を図る。				
	概要	鯖江公共交通振興会運営（以下が主な活動内容）のための補助を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・サンダーバードで行く鯖江市民号の企画 ・JR西日本金沢支社への陳情 ・福井鉄道利用促進事業の企画・運営 ・福鉄プレミア1日フリー乗車券を提示された方がつつじバス1日無料になる制度の支援 				
	法令根拠					
	実施形態	現在	補助金等交付			
	内容	補助事業である。				

活動指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
※設定困難			目標値					
			実績値					

成果指標								
指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
会員数		人	目標値	105	105	105	135	135
			実績値	100	100	135		
計算根拠	会員数		達成率(%)	95.2	95.2	128.6		
			実数値					
			ランク	A	A	A		

DO(実施)	会計	一般会計	事業要員	正規職員	
	事業タイプ	単独事業		臨時・嘱託	
	経費区分	補助費等		※所要時間	30

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	500	500	500	500	500	
	決算額	500	500	500	500		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	公共交通機関を市民の手により地域に密着したものにしようとする会である。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	公共交通機関の活性化については市も取り組んでいる。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
		根拠			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
			事業名		
根拠					
有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	公共交通の利用拡大を推進するため設置された団体に対する運営補助金であり、削減の 余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	国や県の補助金で財源を確保するものはない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	会を積極的にPRすることにより会員数を増やすことができる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="text" value="維持"/>	【平成31年度 方向性】	<input type="text" value="維持"/>
	平成30年度取組み	J R、福武線、つつじバスなどの市内公共交通機関の維持発展のため 事業内容の見直しも提案しながら、会の活動に対する支援を継続する。	平成31年度計画	J R、福武線、つつじバス、更には2023年春から運行開始する並行在来線など、市内公共交通機関の維持発展のため事業内容の見直しも提案しながら、会の活動に対する支援を継続する。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	つつじバス運行事業	事業コード	2650
------------	-----------	-------	------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策	421
		安心で快適に暮らせるまちの創造	どこにでも歩いて行ける交通網の整備	幹線交通網と二次交通網のネットワークによる地域公共交通網の形成	

PLAN(計画)	部署名	総務課	開始年度	2010	終了年度	9999
	目的	高齢者、障がい者にもやさしい市民の足を確保する。北陸新幹線敦賀開業時により幹線交通網が大きく変化するため、幹線交通網と二次交通網のネットワーク化を図り、より利便性の高い公共交通網を形成する。				
	概要	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティバス「つつじバス」を事業者に委託して運行する。 ・幹線交通網と二次交通網のネットワーク化の推進を図るため、「鯖江市地域公共交通活性化協議会」を設置し、「鯖江市地域公共交通網形成計画」ならびに「鯖江市地域公共交通再編実施計画」を策定し、通勤通学や東西間のスムーズな移動等市民ニーズに対応する。 ・福井鉄道路線バスの鯖浦線や南越線とつつじバスとの接続を強化し、通学需要への対応に加え、隣接する越前陶芸村や越前和紙の里などと市内産業観光施設等との連携も図る。 				
	法令根拠					
実施形態	現在	民間等委託(全部)				
	内容	運行主体である市が民間乗合事業者に運行委託している。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	運行便数	便	目標値	23,546	23,546	20,840	21,435	21,503	
			実績値	23,037	22,803	20,166			

DO(実施)	成果指標								
	指標名	単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)	
	利用者数	人	目標値	200,000	200,000	200,000	180,000	180,000	
			実績値	187,184	183,083	136,976			
	計算根拠		達成率(%)	93.6	91.5	68.5			
		実数値							
		ランク		B	B	C			

会計	一般会計	事業員	正規職員	0.2
事業タイプ	補助(県)事業	事業員	臨時・嘱託	
経費区分	物件費	事業員	※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	79,199	84,775	106,698	124,017	116,096	
	決算額	78,360	82,826	99,347	123,777		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="text" value="ある"/>	根拠	生活交通路線は鯖江市においては福井鉄道が運行している鯖浦線のみで、市内全域を網羅しているのは当市が運行しているコミュニティバスしかないため市民ニーズは十分にある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="text" value="はい"/>	根拠	運行する民間事業者がないため。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="text" value="ない"/>	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	有効性	【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="text" value="ない"/>	所管課		【統廃合可能性】 ある場合、当該事業の統 廃合は可能ですか。 <input type="text"/>
		事業名			
	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	運行委託期間を単年度入札から10年間の長期契約をしていることからコスト削減の余地はない。		
	【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="text" value="なし"/>	根拠	現在は県の補助金を活用しているがそれ以上に財源確保の余地はない。		
	【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="text" value="ない"/>	根拠	積極的な利用促進を展開していく。		

ACTION	【平成30年度 取組み】 <input type="text" value="事務改善"/>	【平成31年度 方向性】 <input type="text" value="事務改善"/>
	平成30年度取組み 平成30年4月ダイヤ改正において運行内容の改善を行 いながら、「鯖江市地域公共交通再編実施計画」に基 づく運行を継続し、利用促進活動に努めながら、市民に身 近な公共交通手段としての定着を図る。	平成31年度計画 「鯖江市地域公共交通再編実施計画」に基づく運行を継 続し利用促進活動に努めながら、利用者の利便性を高め るため平成31年4月ダイヤ改正において運行内容の改 善を行って、市民に身近な公共交通手段としての定着を 図る。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】	<input type="text" value="不可能"/>					
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

H30 事業名	キャリアデザイン研修・面談事業	事業コード 3150
------------	-----------------	---------------

総合戦略	基本施策体系	基本目標	基本施策	実施施策
		(世界にはばたく地域ブランド「めがねのまちさばえ」の確立に向けた組織強化)	職員の資質向上	職員の政策能力向上

PLAN(計画)	部署名	総務課	開始年度	2014	終了年度	9999
	目的	複数の所属を経験し、基礎的な業務経験を積んだ採用5年目または10年目等の職員が、これまでの職務経験を振り返り、自らの能力、価値観を再確認した上で、将来のキャリアの方向性について見極め、自己の未来像を描くとともに、そのためには今後にどのような能力を高める必要があるかを考えることにより、職員の自発的な能力開発や業務意欲の向上を図る。				
	概要	【キャリアデザイン研修】キャリアデザインの意義・手法を習得することを内容とする講義、ワーク、発表(1日間) ①キャリアを考える ②キャリアの振り返り ③自己イメージの構築 ④環境変化への洞察と期待・役割の変化 ⑤キャリア形成の方向と能力開発 ⑥キャリアプランの作成と発表等 【キャリア面談】キャリアデザイン研修において描いたキャリアの方向性についてさらに考えるとともに、総務課職員が面談により助言等を行う。(研修終了1~2週間後)				
	法令根拠	地方公務員法第39条				
実施形態	現在	市直営				
	内容	高度・専門的内容を含むため、研修は外部講師に直接依頼し実施する。				

DO(実施)	活動指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	キャリアデザイン研修の開催およびキャリア面談の実施		回	目標値	1	1	1	1	1
				実績値	1	1	1		
	成果指標								
	指標名		単位	年度	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
	キャリアデザイン研修受講およびキャリア面談実施の職員満足度		%	目標値	75	80	90	90	90
				実績値	100	100	95		
	計算根拠	研修受講者×満足者の割合		達成率(%)	133.3	125	105.6		
				実数値	15/15	36/36	18/19		
				ランク	A	A	A		

タイプ	会計	一般会計	事業要員	正規職員	0.004
	事業タイプ	その他		臨時・嘱託	
	経費区分	物件費		※所要時間	0

【単位:千円】

事業費	区分	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	補助金等名称
	予算額	160	100	100	100	100	
	決算額	100	100	100	100		

平成30年度 事務事業評価_事務事業調書 (評価対象事業)

CHECK(評価)	必要性	【ニーズ】 住民等のニーズは十分に ありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	職員の能力開発と資質向上を図り、市民サービスの向上を図ることについては、市民から常に強い要請がある。	
		【行政関与】 行政が実施すべき事業で すか。 <input type="checkbox"/> はい	根拠	行政の屋台骨を支える市職員の人材育成に関わることであり、行政が一定の関与をしないことは想定できない。	
	効率・効果	【競合】 国、県、または民間のサー ビスと競合している事業は ないですか。 <input type="checkbox"/> ない	主体		【廃止可能性】 ある場合、当該事業の廃 止は可能ですか。 <input type="checkbox"/>
		【類似重複】 本市の事務事業の中で、 目的や概要が類似する事 務事業はないですか。 <input type="checkbox"/> ある	事業名		
	有効性	【コスト削減】 今以上に、コストを削減す る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある	根拠	研修講師の派遣方式から内部講師による独自研修とすればコストは削減できるが、それに見合う講師を現状では養成していない。	
		【財源確保】 今以上に、財源を確保す る方法がありますか。 <input type="checkbox"/> なし	根拠	人材育成のための職員研修事業は、基本的に交付税措置による単独事業である。	
【成果向上】 今以上に、成果を向上させ る余地はありますか。 <input type="checkbox"/> ある		根拠	原則として、5・10年目の職員向けに実施しているため、キャリアプランの目標達成度をさらに5年後に確認するなどの反復研修を行うことで、キャリアを意識した能力・資質の向上につなげることができる。		

ACTION	【平成30年度 取組み】	<input type="checkbox"/> 維持	【平成31年度 方向性】	<input type="checkbox"/> 事務改善
	平成30年度取組み	採用5年目および10年目等の職員を対象として、自身の職務経験の振り返りを通じて自らの能力・価値観を再確認させる機会を設ける。そのうえで、自己の未来像を描かせ、今後どういう能力を高める必要があるかを考えさせることにより、職員の能力開発や業務意欲の向上を図る。	平成31年度計画	早期退職が比較的多い保育士、幼稚園教諭については、キャリアプランを通して自己の未来像を描くことで、ワークライフバランス、業務に対する意欲の向上、離職防止につなげられるよう、研修に参加しやすい時期や研修時間を工夫し、多くの保育士、幼稚園教諭が受講できるよう、一般事務の職員とは別に実施する。一般事務職員の研修と隔年実施とする。

【H31提案型市民主役オープン事業実施】		<input type="checkbox"/> 不可能				
年度	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	H31(2019)
取組選択	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能	不可能
実施状況	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施	未実施